岩盤ボーリング柱状図

調査名　その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	支川I-2-No.3	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18' 35.5600"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2020／12／ 1～2020／12／ 2	東経	132° 30' 40.5300"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 95.94m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	4.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型
					エンジン：(株)ヤンマー製 NFD-10　ポンプ：東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
	95.74	0.20		礫混じり砂	濃茶								細～中砂主体。φ10mmの礫が混入する。	
1	94.94	1.00		強風化花崗岩	茶褐	w5	h4	E	VI	d	D	0[0](100)	強風化したDL級花崗岩。棒状コアで採取される。指圧で容易に崩壊する。	
2	93.14	2.80		風化花崗岩	灰褐	w5	h3	E	V	d	D	0[0](100) / 10[0](100)	風化したDM級粗粒花崗岩。棒状コアで採取され，指圧により破砕される。縦方向の亀裂面が認められる。	
3	91.94	4.00		花崗岩	淡灰褐	w2	h2	B	III / II	b	CM	21[58](100)	粗粒花崗岩。GL-2.8mより岩片硬質となる。GL-3.5mまではハンマー軽打により純い金属音を発し，4～15cmの柱状コアで採取される。GL-3.5mより亀裂間隔10～20cmと広くなる。ハンマー軽打により金属音を発する。	12/2 3.30 / 3.70

標準貫入試験

深度	N値	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	50以上	50	250	
1.40		250		
2.15	50以上	50	160	
2.37		160		
3.00	50以上	貫入不能		
4.00	50以上	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
			FC込み	0	0	0	W1 0	0
12/1	420	66／ケーシング	S／M	30	100	0	W3 20	20
				30	120			
				50	120			
12/2	390		W／D	75	150	0	W3 11	11